

作業計画と実績

2014年5月14日現在

月日	曜日	予定 (4/28週間予定表より)		実績	
5月5日	月	・Hybrid Training実験後作業 (トレーニング終了後の筋力測定)	Biological Rhythms4 8実験 (5-9日: Actiwatch 計測 7-9日: Holter心電 計計測)	[継続実施中] ○船内利用	・Hybrid Training実験後作業 (トレーニング終了後の筋力測定)
5月6日	火			・「きぼう」船内の 宇宙放射線計測 (Area PADLES)	・「きぼう」船内の 宇宙放射線計測 (Area PADLES)
5月7日	水	・Dynamic Surf2 実験準備作業		・Stem Cells実験	・Stem Cells実験
5月8日	木	Ice Crystal 実験		・Space Pup実験	・Space Pup実験
5月9日	金	CsPINs 実験		・JAXA PCG 実験	・JAXA PCG 実験
5月10日	土	・JAXA PCG実験関連作業		○船外利用	○船外利用
5月11日	日			・宇宙環境計測ミッ ション(SEDA-AP)	・宇宙環境計測ミッ ション(SEDA-AP)
			・全天のX線天体の 監視(MAXI)	・全天のX線天体の 監視(MAXI)	
			・4K極低温機械式 冷凍機の技術デー タ取得(SMILES)	・4K極低温機械式冷 凍機の技術データ取 得(SMILES)	
			・ポート共有実験装 置(MCE)の実験機 器の運用	・ポート共有実験装 置(MCE)の実験機 器の運用	

日付は日本時間

- 略語 Hybrid Training: 国際宇宙ステーションに長期滞在する宇宙飛行士の筋骨格系廃用性萎縮へのハイブリッド訓練法の効果
(代表研究者: 久留米大学医学部 教授 志波直人)
- Resist Tubule: 植物の抗重力反応機構—シグナル変換・伝達から応答まで
(代表研究者: 保尊隆享 大阪市立大学大学院理学研究科教授)
- Biological Rhythms48: 長期宇宙飛行時における心臓自律神経活動に関する研究
- Dynamic Surf: 高プラントル数流体のマランゴニ振動流遷移における液柱界面の動的変形効果の実験的評価
(代表研究者: 鴨谷康博 ケースウェスタンリザーブ大学 機械・航空宇宙工学部門 教授)
- JAXA PCG: タンパク質結晶生成宇宙実験
- Area PADLES: 受動積算型宇宙放射線線量計
- Stem Cells実験: ES細胞を用いた宇宙環境が生殖細胞に及ぼす影響の研究
(代表研究者: 森田隆 大阪市立大学教授)
- Space Pup実験: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
- SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
- MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
- SMILES: 超伝導サブミリ波リム放射サウンダ
- MCE: ポート共有実験装置